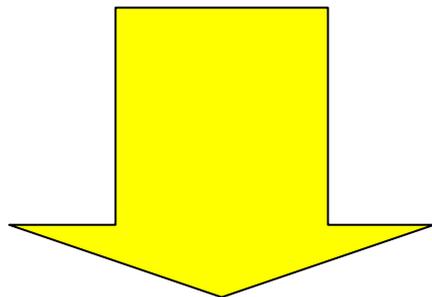


7 環境・緑化部会の取組(2)

テーマ2:「グリーンアップ・里山ボランティア」

- ・麻生区には、市内の農地・山林のうち約42%の緑が集積しており、貴重な資源である。
- ・手付かずの緑地もまだ多くあり、その保全活動が必要



・環境に関する活動へ、「現在参加している(13.7%)」「今後参加したい(45.2%)」とする区民が約60%おり、7区の中で一番高い割合を示しており、関心も高い。
(2008年度 市民アンケート結果より)

- ・区民の力で、これまで手付かずだった緑地の保全活動を進めていく。
- ・活動を通じ、区の特徴の一つでもある緑への親しみや愛着を持ってもらう機会とする。
- ・参加者同士のつながりが生まれ、新たな活動の展開などが期待できる。

● 具体的取組経過

(1) 麻生区内の緑地などの管理状況などの把握

- * 道路公園センターからの情報提供
- * 既存活動団体への活動参加とヒアリング調査の実施
- * (財)川崎市公園緑地協会主催の里山研修会への参加

(2) 里山ボランティアモデル事業実施に向けた企画・調整

- * 候補地の選定(市有地の中から4箇所選定。協力:道路公園センター)
 - ⇒ 現地の下見(4箇所)
 - ⇒ 実施予定場所の絞り込み
 - ⇒ 地元町内会、関係機関等との調整

(3) 里山ボランティアモデル事業実施(H23.12.10)

作業前準備風景



作業風景

● 里山ボランティアモデル事業とは？

【目的】

麻生区内で緑の保全活動が行われていない手付かずの緑地の保全を目的に、里山ボランティアを新たに組織し活動を実施する。

特定の場所に固定した活動ではなく、その都度手入れの必要な緑地で活動を実施する。

【実施概要】

- ・実施日：平成23年12月10日(土) 10時~12時30分
- ・実施場所：月読神社周辺の市有地(下麻生1丁目)
- ・参加者：公募ボランティア 7名、区民会議委員6名、森林インストラクター 2名
(財)川崎市公園緑地協会 1名、事務局他 5名 合計 21名
- ・作業内容：竹の剪定、枝払い、倒木の整理、廃棄物の撤去など



【まとめ】

- ・公募ボランティアの参加は少なかったが、景観の整備などに効果があったので、継続的な取り組みが必要。
- ・参加者からは好評を得られ、「また参加したい」という意見がほとんどだった。
- ・取組を広げる際、実施主体と地元町内会・他団体との連携の検討も必要。
- ・実施が1回しかできず、新たな組織の立ち上げまではつながらなかったが、活動継続に向けた調整を検討している。